



Lecture 1

なぜ、お金も人間関係も人生の流れが好転しないのか？

～負のエネルギーを排除する方法～

植草: 皆さん、こんにちは。「スピリチュアル コネクト」プロデューサーの植草です。
いつも、スピリチュアルコネクトをご愛顧いただきまして、
誠にありがとうございます。

おかげさまで、ウェブサイトのほうも1日1万人以上の方に訪れていただける
ようになりまして、そこで提供しております、無料ヒーリングのほうも
3000人以上の方に体験していただくことができました。

実際に体験していただいた人から、「体が軽くなりました」であったり、
「明日からの活力になりました」というような嬉しいお言葉をいただきまして、
スピリチュアルコネクトを始めて本当によかったなと感じております。

今日は、そんな皆さまに朗報がございます。

皆さまに、もっと上質で、本物のヒーリングを体験していただきたいと思ひまして、私が、業界内で本物のヒーリングを提供していただける方を一生懸命探してきました。

この業界ですと、どうしても表面的な、どこからか聞いてきたような話をそのまま言うような、ニセとまでは言わないですけども信用できないヒーラーとかがいる中で、この人なら大丈夫なんじゃないかというような形でヒーリングを提供していただける占い師・ヒーラーの方に出会いました。

早速、ご紹介したいと思ひます。東城凜（とうじょう・りん）先生です。今日は、よろしくお願ひします。

東城：お願ひします。

植草：スピリチュアルが好きな方の中には、東城先生のことをすでにお知りになっているという方も多くいらっしゃるのかなと思ひますけれども、詳しい紹介のほうは、のちほどさせていただきます。

今日から4回に分けて、皆さまのほうに、東城先生と一緒に無料でヒーリングのほうをお届けしていきたくと思ひております。

内容としては、たとえば恋愛や人間関係におけるネガティブなエネルギーの浄化。あとDNAレベルでの心や魂の浄化。あと皆さんも気になるんじゃないかと思ひます、お金の部分の浄化に対して負のエネルギーを排除し、幸せな人生を選ぶ、好転するメソッドのほうをお届けしていきたくと思ひます。

題しまして、「ソウル アセンション ヒーリング」といいます。ネガティブなエネルギーを反転させていくということを目的にしてお願ひして、

ヒーリングの最後には、人間の体、目に見えない世界を浄化して、あなたの持つ本来の素晴らしいエネルギーを解放するプログラムを公開していきたくというふうにお願ひしてあります。

自らの運命を切り開くきっかけになると思ひますので、ぜひ楽しんでご覧いただければと思ひます。

早速、東城先生のご紹介のほうを私から簡単にさせていただきます。

東城先生は強力な霊視を使いまして、今まで延べ4万人以上という、かなり多くの人の人生の悩みを解決してこられました。

負のエネルギーを浄化、たとえばお金、恋愛、人間関係。もしくはもっと深いところまでいきますと、たとえば会社の経営者であったり、役員の方の相談にも乗りまして、会社はこれからどこへ向かったらいいのかであったりとか、人材の配置をどうすればうまくいくのか、というようなご相談にも乗られてきていらっしゃるということです。

先生の専門分野としましては、靈感、霊視はもちろんなんですけれども、タロット、四柱推命、アカシックレコード、辻占、形代、五行、西洋占術、風水などによる方位学などの占術を習得されているということで、

有名な占いサイトでも活躍されております。
また、テレビやラジオ、雑誌にも出演されているということですね。

東城：はい。

植草：早速、先生のプロフィールを拝見しまして、皆さんも気になっているんじゃないかなと思うんですけれども、

霊視とかタロットというと、スピリチュアルが好きな人は体験したことがあるとか、聞いたことがあるなんていう人もいると思うんですけれども、

四柱推命とか、辻占とか、形代って、これは、実際にどういうことなのかというのをちょっと教えていただきたいんですけれども。

東城：まず四柱推命は、結構有名で、現在・未来・過去とかを見るには最適な統計学で、陰陽五行から見ていくというものなんですね。

ですので、結構本とかは出ているんですけれども、早々に覚えられないという難関で、きちんとできている先生のところまで学んでいくとできるという、結構私は好きな、的中率が高い統計学かなと思っています。

辻占という占いは、ちょっとマニアックなんですけど、江戸時代とかではポピュラーな、1番流行っていた占いで、橋のたもとで悩みを聞き、その悩みを解決するとき、おみくじみたいなものを用意していて、前に通りすがった全然関係ない辻的な女性とか、男性の方の最初に発した言葉、聞こえた言葉

から、その言葉のおみくじを引いて答えを出すというのが、最初の始まりで。最近で、皆さんが見かけるのは、やはりクッキーの中でおみくじとか。

植草：ありますよね。クッキーに入っているやつですよね。

東城：あれも辻占なんですよ。

あと形代というのが、実は、ちょっとマニアックすぎるんですけど、基本的には神社さんにあって、6月とかに大祓のときに、人の形をしているところに、自分が、たとえば病気の方とか、願望を達成したい人とかが書いて、お願いをして、祈願をするものなんですけど、

陰陽師の世界とかあちらの世界では、形代というものを使って、ペットとか使い魔のような扱いをしていたんですね。

なので、邪気とか願望達成とか、あと思念伝達とかそういうものをするときに使うものというのが形代で。

私の場合はそこに【霊風（れいふう）】のものを、きちんと体とかを清めて、筆で書かせていただいて、その方に合う氏神さまの系列の神社に行って、祈願をしてくるという形で、形代を使わせていただいていることが、私のやり方ですね。

植草：よくアニメとかで、紙が人の形になって。あれが、形代ですか？

東城：そうですね。

植草：今の話で、陰陽五行という言葉が出てきたんですけども、陰陽五行ってなんですか？

東城：まず生きているものは、すべて土とか、水とか、火とか、風とか、そういうので成り立っているということで、もちろん、たとえば全部がそういう効果のあるものじゃなく、逆に害になるものもあるということで、たとえば、火だったら水に弱いとかあるじゃないですか。

そういうふうになっていて、それを統計で表していて、中国から流れてきて、それを日本の陰陽師さんたちが一生懸命、統計学に変えたという形ですかね。

植草：たとえばそれは、僕の未来とかも占えたりとかするんですか？

東城：そうですね。

そこから読み取って行って、たぶんそこに星読みとかも入っているかと思うんですね、星座的なものとか運氣的なものとかも。なので、そういうところでは一番わかりやすい、最古の占い方なんじゃないかなと、私は思ってますね。

植草：それって、たとえば僕なんかは、会社を経営しているんですけども、事業の話とか、あとはスタッフの話とか、あと人間関係とか、そういうのを全部占えるものなんですか？

東城：やはり四柱推命の場合は、本人の起こりうる出来事とかを見るのには最適だと思うんですね。

相性とかも、もちろんいいとは言われているんですが、私が見た感じ、相性よりも、本人の生き様を見る、人生観を見るにはいいんじゃないかなという占い方だと思っています。

植草：生き様を見るっていうのを、もうちょっと具体的にいうとどんな感じでしょう？

東城：たとえば過去に、いついつぐらいに結婚をして、離婚をしてとか、そういうような人生観を見ていくうえではいいかなと。

植草：よくありますものね、僕は何歳ぐらいに結婚をしたほうがいいと言われたとか、そういうものを見ていくのが、五行、陰陽。

東城：はい。四柱推命にはぴったり合っていて。五行の場合は、もちろん会社とかでも見るというのはあるんですが、五行で一つで見るよりは、逆に組み合わせを見ていったほうがいいんじゃないかなと。

植草：組み合わせをしていくと、より正解率というか、当たる確率が高くなってくるんですね。

東城：そうですね。

植草：皆さんもまだまだ知りたいことが、たとえば霊視とか靈感とかも、

かなり気になるんじゃないかと思うんですけれども、先生のプロフィールを調べていくと、それだけで1時間も2時間もきつとお話しできてしまうと思うので、今日の本題のほうに移りたいと思います。

今日の本題なんですけれども、
多くの方が、人生がうまくいっていないと感じる原因ですよね。

理由と原因というものがあがると思うんですけれども、そこについて、スピリチュアルの観点からお話しをうかがっていきたいと思います。

まず、なぜ多くの方は、
人生がうまくいっていないと思ってしまうのでしょうか？

東城：ちょっと嫌なことがあったりとか、悪いことがあったりとかすると、自分自身が見えなくなってしまうというのが、まず根本に出てきますよね。

落ち込んだりとかして周りが嫌だとか。そういうので自分の運命が悪いものだと思ってしまうのが、スタートなんですよ。

そこから、今度は、すべて世の中というのはいいいエネルギーばかりではないので、負のエネルギーを自分の中にどんどん吸収してしまうというのが、多くの原因の一つだと思います。

植草：自分で、負のエネルギーを取り込むような仕組みを勝手に作ってしまっている。

東城：そうですね。

植草：なぜそういう仕組みを作ってしまうのでしょうか？

東城：まず、人間というか、生きものには、皆さん「気」があって、オーラというものがあります。

オーラというのは、人間のよく2センチ、3センチぐらいのところに、エーテル体と言われるものがありまして。透明なバリアみたいな熱を生じているような、ちょっと触って、2センチ、3センチのところだと……、子どもの頃に遊んだのだと、眉間のところに指をやるとこそばゆいとかありますよね。あそこがエーテル体の位置になるんですよ、幅的に。

そのところに、やはりいろんな方の心ない言葉とか、やられたとか、最近ですと、たとえば異性からの暴力だったりとか、そういうもので傷がついていく、心に。そうすると、エーテル体というのは、やはり気で、生きるものですから、傷になっていくんですね。そこから、ばい菌みたいにいろんな悪いものが、中に入っていくので。

植草：エーテル体と心は、つながっているというイメージですかね。

東城：そうですね。

基本的に、よく言われているのが、昔は、たとえば亡くなられたときに、お葬式をなさるじゃないですか。

日本の場合は四十九日、海外の場合は60日ってあるんですが、そこは、エーテル体という魂が、本当に細分化してなくなっていくのが49日、日本ではかかると言われていまして。四十九日というのは、ある意味エーテル体の、本当の魂のお葬式を行うのが四十九日。

植草：そういうことなんですね。

四十九日とか名前は知っていて、あることも知っているけれど、エーテル体がなくなってくるというところまで知っている人は、ほとんどいないですよ。そのエーテル体が傷つくような仕組みを作ってしまったということですね。

東城：そうですね。

そこに、やはり無防備に悪いもの、たとえば自分を傷つけるような言葉とかがどんどん入って流れてくるような状態になりますと、やはりそこの中から心に浸透していくので精神面がきつくなったりとか、あとはちょっとしたことで過敏になったりとか。

植草：エーテル体に、強いとか弱いとかってあるんですか？

東城：皆さん、やはり多かれ少なかれ、ほとんど一緒なんですよ。
あとは、必要なのは、日頃メンタル……、

肉体でいったら、ケガをしたら「絆創膏(ばんそうこう)を貼りますよ」とか、

「消毒をしますよ」ということをするのが当たり前なんですけれど、見えないところなので、メンテナンスしないじゃないですか。

一番やらなきゃいけない場所なのに、やらないで無頓着にしているから、どんどんボロボロになっていく。

植草：確かに今の世界はちょっとわからないですけど、日本だと、心に傷がついている、毎日、きっと傷ついているんですよね。

その心に傷がついているのを毎日メンテナンスする人って、少ないかなと思うんですけど、実際に先生のところに相談に来る方っていうのは、どうなんですか？

東城：多いですね。

重症な方ですと、それこそ今5分前に彼とお話しをしたのに、電話を切ったらもう浮気をしているんじゃないか、というふうにはまってしまって、おかしくなっちゃうという方も結構いらっしゃる。

植草：それは、エーテル体が傷ついているから、そういう症状になっちゃう？

東城：エーテル体が傷ついて、そこから、いらぬ負のマイナスのエネルギーを情報収集しちゃっているんで、パートナーとかご家族でもいいんですが、親友すらも信じられなくなってしまう。

植草：エーテル体というのは、体というか、心を守っているバリアみたいなものだと思うっておけばいいですね。

東城：そうですね。

植草：そのバリアは、人間みんな持っているということですよ。

人間がみんな持っているんだけど、日々の生活とかの中で、いろんなネガティブなエネルギーとかにさらされて、弱って、薄くなったりするんですかね、破れちゃったりとか。

東城：そうですね。

植草：そうすると悪いものがどんどん入ってくる。もともと悪いものがあって、守ってくれていたものがないからダイレクトに入ってきて、どんどん傷が深くなっていくと。これが、多くの人がうまくいかないと感じている理由。

東城：はい。

植草：事前にちょっとお話を聞いていたところだと、「ダークエネルギー」みたいな言葉が出てきたんですけども、ダークエネルギーって具体的にいうと、目に見えないものを具体的にできるかどうかは別として、どういうものがダークなんでしょうね。

東城：最近ちょっと有名になっているのだと、バンパイア気質だとかって、エナジーバンパイアとか流行ったじゃないですか。

あとは、自分の中で、自分では何もしていないんだけど感じてしまうという、マイナス的な考えとかをエネルギーとして、後ろから見ていると落ち込んでいるのがわかる方とかいらっしゃるじゃないですか。

植草：いますね。

東城：ああいうのは、ダークエネルギーになっちゃうんですよ。負の連鎖で起こすので。やはり多いのは、エナジーバンパイアの方が、一番ダークエネルギーが強いかと思いますね。

植草：エーテル体とエナジーバンパイアの話を知っていると、2種類いるのかなと思って。

要は、エーテル体は傷つきすぎて、自分で完全に修復不能に陥っちゃっている人と、周りに迷惑をかけているバンパイア、エナジーバンパイアがいる。そういう認識なんですかね。

東城：まず、特別なものじゃないんですよ、バンパイアというのは。もちろん神さまが与えたものなので、あれなんですけど。

弱っている人のそばに普通の人間が行くと、人間というのは、やはり生命力を高めようとするので、弱っている人からいいエネルギーを吸い取ってしまうんですよ、磁石のように。

植草：プラスからマイナスに？

東城：たとえば自分が元気だったとすると、相手の方が弱っているとするじゃないですか。そうすると、「大丈夫？」と声をかけられればいいんですが、気づかないで心ない言葉を言ったときに、相手に対して攻撃した状態に入っていっちゃって、それがマイナスになって増幅していくという状態なので、

そうすると、弱っているんで、相手が一生懸命なんとかしてあげようと思うんだけど、一度吸い取ってしまっているから、どんどん吸い取り出してしまうって、攻撃的に相手に感じてしまう。

植草：じゃあ、両者問題ありですよ。吸収するほうも、そう受け取らなくていいものを、ネガティブに変換して受け取っているというのと、言うほうも、そこまでは気を使っていないという。

東城：よくいう、デリカシーがない方って言うんですかね（笑）。

そういう方たちは、どんどん弱っている人たちのいいものを吸い取っていくというのがあって。

弱いほうの方は、逆に言うとサイキックスポンジと言われて、悪いものもいいものも全部ないので、水分みたいに吸い取っていっちゃって自分で重くなってしまうという。

植草：そもそもサイキックって、何なんですか？

東城：サイキックというのは、不思議なこととか、いろんな変換はあると思うんですよ、普通に。なんですけど、私たちの中のサイキックスポンジというのは、見えない世界のもの、エネルギーで事を起こすことを言うんですね。言霊だったりとか、文字霊だったりとか、あと思念とか。

植草：文字霊というのは？

東城：文字霊というのは、昔は、全部手書きで手紙を書いていたりとか、最近だとメールだったりとか、SNSとかあるんですけど、

皆さん、無意識に書いていると思うんですけど、書くときは必ずそのことに集中して書いていらっしゃるので念が入るんですよ、インターネットの世界でも。

そうすると、相手に伝わってしまう。なので、スタンプだったりとか、絵文字とかをしているんだけど、文章が、たとえば普通なんだけれど、受け取ったほうが不快な感じがするというのは、結局言霊と同じようにエネルギーが伝わってくる状態ですね。

植草：確かに、僕なんかは、わりとウェブとか、ウェブのマーケティングなんかの会社なので、かなりウェブ上の情報の出し方とかは気をつけている部分もありますし、お客さんとかと話すときにも気をつけていきましようという話をするんですけども、そこに要はネガティブな感情が乗っかっているんですかね。

東城：そうなんです。

植草：その感情を受け取って、受け取るときにエーテル体がなくて、ぐっと。

東城：入ってきちゃう。

植草：でも現代の人だと、LINEとか、人によってはFacebookとかTwitterとか見ない日のほうが少ない。

ということは、それを見るたびにネガティブなエネルギーを受け取って。

東城：そうですね。

相手が本当にクリーンで天使のような方だったらいいんですけど（笑）世の中、社会現象のようにストレス社会といわれるぐらい、どこにいてもストレスを感じるのと一緒に、そのくらい受けている。

それこそ、外に出ると花粉の時期になると、花粉症で、マスクなしではいられないって、あれと同じぐらいの勢いで受けているということを実感してもらったほうがいいかな、というのはありますね。

植草：花粉症の人からしたら、今一瞬でイメージが湧いたそんなつらいものが、目に見えないけどあるなんて言われたら、ただ事じゃない感じですよ。

実際、今日はもっと具体的なところで恋愛と人間関係、職場とか、大きく分けるとこの2つかなと思うので、それぞれについてのうまくいかない原因についても、ちょっと教えていただければなと思うんですけど。

まず、恋愛のほう。これがうまくいかない原因を教えてくださいませんか？

東城：まず、誰でも恋愛をしているときというのは、本当にラブラブというのはあり得ないと思うんですよ。せっかくいい状態でいても、ちょっと不安になるからといって、恋愛成就に効く神社に行ってしまうたりとか、そういう方っているじゃないですか。

植草：結構いっぱいいると思います。

東城：そうすると、ベストパートナーとしていらっしゃるのに、神さまに祈願をするので、神さまはこの仲がよろしくないと判断をするじゃないですか。

植草：そういう判断なんですね。

東城：そうすると、なぜかそこに相手のアラがどんどん見えてきて、離れようとする力が生じてきたり、ケンカが生じたりとかというのもありますし、その方が、本当はソウルメイトという言葉でパートナーさんというのは、すべてソウルメイトになって、

ソウルメイトというのは、よく「1人なんですよ」って皆さん言うんですけど、ソウルメイトというのは、基本的に魂のかけらの集まりなので、1人じゃないんですよ。

今世では、もちろんご家族、恋人、親友も全部ソウルメイトなんですね。

なのに、「ソウルメイトじゃないわ」ってやるので、宿題的なもので合っているソウルメイトを引き離すので、縁切りを自分でしているんですよ。

植草：縁切り。

東城：よく縁結びとか、縁切りってあるじゃないですか。

縁切り作業を自分で行うということは、自分で、そこに一つのカルマという因縁を作ることになるんですよ。

植草：カルマ？

東城：よく仏教でいうと、徳を積むとか、業（ごう）とかあるじゃないですか。そういうのを自分で減らすんですよ。

結局悪いことをするわけですから。強引に切るわけですから。神さまが与えた道を切っていくわけだから。

なので、やはりそこの面では、恋愛が一回循環が悪くなりますよね。

植草：本当だったらうまくいってはいはずのものを、わざわざ神社に行き、自分で切ってくるという作業をみんなしている。全然ダメな間違えた行動を。

東城：はい。

植草：でも、これって結構普通なことだと僕は思うんですよ。

一般の女性からしたら、たとえば、「好きな人ができました」とか、「もっといい人と出会いたいです」とかってなったときに、神社に行って祈願してきたって、結構よくある話じゃないですか。

これもダメなわけですか。

東城：まず、今の時代ですと、恋愛っていうのは、祈願っていうのは当たり前ですけどそういうものって人間が作ったものじゃないですか、正直なところ。

結婚式の行事というのも神聖なもので、神さまにお知らせするための行事だったわけですよ、昔は。婚姻届というのは、はっきり言って人間が作り出した現象なんですよ。

神さまの世界で言ったら、魂同士、体同士が結ばれたときが、すべて夫婦なので、恋愛じゃなくなるんですね。

だから、夫婦円満とか、家内安全とか円満とか、そういう祈願をしなければいけないのに、皆さんは、付き合っているだけだからといって恋愛成就とやっていて、まずそこがもう間違っちゃっているんですよ、やり方。

植草：恋愛成就ではないということですか？

東城：はい。

恋愛成就というのは、

「あの人と良縁を結ぶためのものをください」

ということで、また縁結びをしているんですよ、成就というのは。

植草：分けて考えなきゃいけないということですね。

東城：そうなんです。せっかくもうパートナーがいるんだったら、
「うまくいきますように、この方と」という神社さんに行かなければいけない。

植草：神社も分かれています。

東城：そうですね。

植草：逆に、これから結ばれたいという人は、別にそれでもいい。

東城：恋愛成就でも構わないです。

植草：お祈りして、「いい人に出会えますように」でいい。

東城：そうなんですよ。

ただそこで、今現状で周りにいる人たちに対しての、ソウルメイト的な立場の人たちの宿題をきちんとクリアしていけばいいんですが、たとえばお父さまと不仲になったといったときは、やはりお父さまとの今世の宿題があるので、お父さまに似たような方で一回宿題を下ろしてしまうという恋愛が。

だから、お父さまと似た人と恋愛してしまうという現象が起きるじゃないですか。そういう形になってくるので、きちんとソウルメイトの仲を整理していくということから始めないと、良縁は難しいですよ。

植草：今、話の中で「ソウルメイト」という単語がかなり頻発していて、実際にスピリチュアルコネクトのサイトでも、ソウルメイトというふうに調べて訪れる人が多いんですが、

そもそもソウルメイトというのは、どういうものなんですか？

東城：簡単に言いますと、

魂というのは、生まれ変わって肉体だけが変わるじゃないですか。

そのときに接触した人、今だと肉体的なところで見ると、こういうふうには接触しているんだけど、魂の上で結ばれたという記憶だけが残ってきて、その断片の中で、皆さんが 100 パーセントこの方と幸せだったと思えば、そこでゲームクリアなんですよ。

だけど、何かしら、昔だったら位の違いとかで結ばれなかったとかあるじゃないですか。

そういう残してきたものを記憶の断片で、パズルみたいに全部持ってきちゃうんですよ。

それを宿題に持ってこさせられるときに、もうそこが、その人とのもう一回やらなきゃいけないということで、ベストパートナーじゃないんですけど、二人三脚という状態でしましょう、というのがソウルメイトなんですよ。

なので、ご家族でも前世では、実はお父さまは、自分の息子だったかもしれないという状態なんです。

それが、ソウルメイトになりますね。

植草：さっきも、ちょっとおっしゃっていましたが、よく、「ソウルメイトは1人じゃない」って。

結構1人だと思っている人が、まず多いですよ。何をしてもシンクロするとか。

たとえば超わかりやすい例でいうと、「今ちょうど LINE をしようと思っていたら来た」みたいなのが、きっとソウルメイトだ、みたいに言っている人って多いのかなと思うんですけど、それはソウルメイトの一部ということですか？

東城：一部です。

植草：今いる人とか、過去に付き合ってきた人を差し置いて、ソウルメイトとか、

ソウルメイトじゃないという判断をするということにはできないということですか？

東城：そうですね。付き合った時点ですべて皆さんソウルメイトなので。

植草：何かを、その人から宿題をもらってクリアをしていかないと、次のソウルメイトは現れない。それか、その人はソウルメイトとして永遠に一緒にいるのかがわからないということなんですね。

まずその認識ができていないから、うまくいかない、というのが恋愛における原因だと思っていいということですよ。

東城：はい。

植草：恋愛は、まず宿題をクリアしましょうというのが一番重要だということがわかったんですけども、

恋愛だけじゃ人生はないですよ。
ほとんどの人は仕事をしていて、職場に行って。

ここでの人間関係で、上司もいれば、部下もいれば、お局さんみたいな人もいれば、同僚という人たちがいる中で、いろんな人間関係に悩まされている人がいると思うんですけども、

ここがうまくいかない原因を教えてくださいませんか？

東城：まずは、最初のところで言ったエーテル体が傷ついてというのもあるんですがどうしても、上司や同僚だと環境的に接触しないというのは無理じゃないですか。

なので、相手に対しても「自分は嫌な思いをさせられたんだ」とか、たとえば上司は、本当は何もしていないんだけど、たまたま心のない言葉で、エーテル体が傷ついていて、入ってきちゃって、

「上司はマイナスなものを送ってくる」という思い込みが生じちゃうと、どんどん、上司が言う言葉を悪く取るしかなくなっちゃうんですよ。

そうするとループにはまっていっちゃうので、そこから周りの人が、

たとえば上司と仲良くしゃべっている同僚がいたら、「あの子ども私の敵。悪口を言っている」というふうに、どんどん自分で変換していっちゃうんですね。

植草：ということは、エーテル体が傷ついている状態では、回復どころか、悪くなることしか見えてこない。

東城：そうですね。

すべてが悪い。それこそ、世の中の電車が遅れたのも悪いみたいな。そうやってきちゃう、極論までいっちゃう方もいますね。

植草：じゃあ、一にも二にも人間関係において重要視しておかなきゃいけないのは、まず自分にエーテル体というものが存在するということと、

それは、普段は守ってくれているけれども、いろんなエネルギーにさらされることによって傷ついたりしてしまって、そこから悪いエネルギーが入ってきてしまうから、まず傷が浅いうちに治さなきゃいけないんですね。

東城：はい。

植草：傷ついていると、悪いものしか入ってこないから、悪いものが入ってこないように気をつけることが重要。

東城：そうですね、まず。

植草：それが、人間関係におけるうまくいっていない一番の原因だということですね。

そこに対して、たとえば恋愛とか、特別な事象が出てくると、認識が間違えているというのが正しいんですかね。

東城：そうですね。

安易に自分で、こうだろうと思っ込んでしまうということと、今は、検索しても情報社会なのでこんなものがあるよというのをそのまま、誰が書いたのかもわからないブログとかでも信じるということのも一番多いと思います。

植草：嘘の情報とか、偽物の情報を。

あとは、本当にちゃんとプロとかじゃない人が適当に聞いてきて言ったような、悪意はないけれども適当な情報が氾濫してしまっていて、それを真に受けちゃうということですよ？

東城：そうです。

植草：それを真に受けると、さっきの恋愛の話みたいに、本当はこの神社に行っちゃいけないはずなのに行っちゃったとか、この行動はしっちゃいけないのにしちゃったということが起こっていて、もっと悪い方向に行っているというのが大きな原因ということですよ。

東城：そうですね。

植草：それを自分なりに解決していくというと、何を気をつければいいんですかね。

東城：まずは、浄化を自分でしていかなきゃいけないというのと、やはりメンテナンスという意味では、たとえば傷が浅いうちでしたら、自宅で、塩で清めていくよとか、天然石をつけますよとか、いろいろあると思うんですが、

正直、自分でどんどん悪化させている方が多いので、自分でやるというのは、やはりちゃんとしたものを習得して、知識の中に入れて、自分で行っていくというほうがいいのかないかなというのはありますよね。

植草：先生の感覚的に、自分で修復できる人と、自分ではどうともいけなくなっちゃっている人の割合って？

東城：8割方は自分じゃもう無理という。

何か誘導があったりとか、こうしたほうがいいよといった、その人に合うものをきちんと見極めたうえで、その通りにやっているという状況のほうがいいんじゃないかなって。

植草：じゃあ、もう8割以上の人は、自分じゃやっちゃいけませんと。

東城：そうですね。悪化させている方のほうが多いですね。

植草：ということなんですね。

今日は、皆さん、東城先生とお話しさせていただいたように、
なぜうまくいかないのかという原因について深めてきたんですけれども、
なぜうまくいかないのかというところについて、
ご理解がいただけたんじゃないかなというふうに思います。

じゃあ、実際に原因がわかったところで、
どういうふうにしていけば自分の傷ついた魂が癒されていくのかであったり、
正しい行動ができるのかということについて、

次回もっとみっちり、この部分についてお話しをうかがっていきたいと思いますので、第2回も楽しみにしててください。ありがとうございます。

東城：ありがとうございました。

次回、Lecture2では、

『心と魂を浄化し、高次エネルギーを解放するワーク』

～聖なる音階を体内に入れこむ方法～

をわかりやすくお伝えします。

実は、壮大なエネルギーというのは、本来、みんなが受け取っているはずなんですが・・・

ほとんどの人が気づいていません。

その理由は、普段、私たちの心は傷つき汚れているため、エネルギーを正しく受け取ることが出来ていないからです。

綺麗でない状態のままですと、高次のエネルギーを受け取ろうとしても、ブロックして、跳ね返ってしまいます。そうすると、どんどんエネルギーが歪んでしまい、悪循環を起こしてしまうのです。

そこで、レクチャー2の映像では、ある修復を行い、本来の生きる道に導き出して行って、本来の自分に変えていく状態を作っていきます。お楽しみに!!

【東城凜・プロフィール】

強力な霊視で、延べ4万人以上の方の悩みを鑑定し、負のエネルギーを浄化し、お金、恋愛、人間関係など人生や運命を好転させるヒーリング・占術の専門家。

霊感・霊視、タロット、数秘術、四柱推命、アカシックレコード、辻占（つじうら）、形代（かたしろ）、五行、西洋占術、黒魔術、魔女学、風水による方位学等、様々な占術を習得。

個人から上場企業の幹部に至る様々な悩みに応え、大手上場企業の幹部までもが人事を決める際などに、鑑定を依頼。さらに某有名サイトでも占い鑑定では圧倒的な人気を誇り、ソーシャルメディアでも多数のファンがいて、現在も対面鑑定などは予約殺到中。出版社からも引き寄せの教材や占いアプリがリリースされるなどメディアでも多数活躍している。



Spiritual Connect

スピリチュアルコネクト